

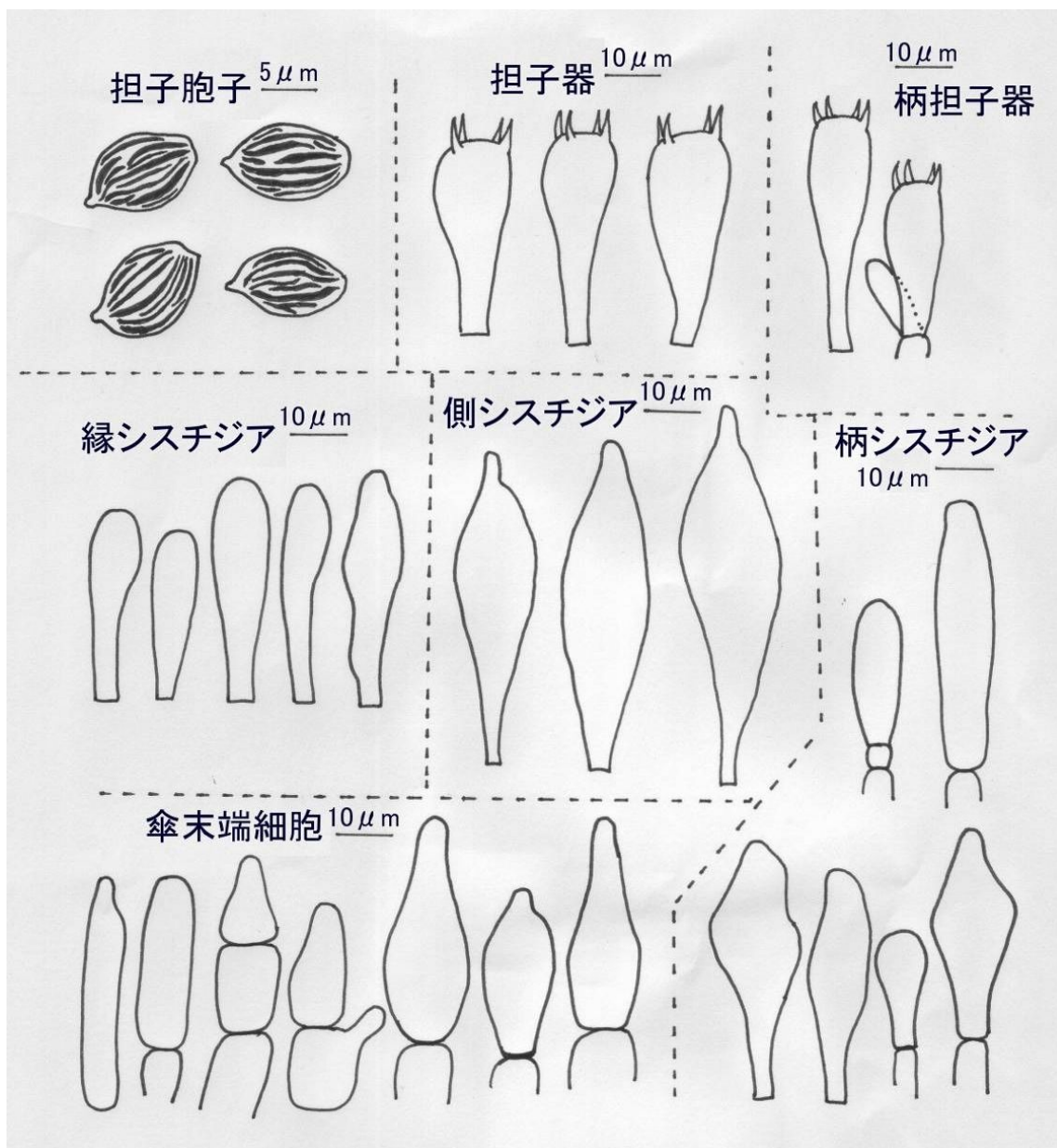
No. 0012

マルミノアヤメイグチ

Boletellus badiovinosus Horak







●傘は径 1.5-4.5cm, 半球形～饅頭形～平らな饅頭形, 凸凹しているものが多く皺状にも見える; 表面ははじめ焦茶褐色, 成長すると細かくひび割れて地肌が見え, 全体的に淡く見える; 触ると褐変し, 地肌は赤く変色する.

●柄は 3.0-3.5×0.4-0.6cm, 上下同径, 中心性, 中実; 表面は黒い粒状の鱗片があり, 裂けたような状態で黄色の肉が見え, 頂部は黄色で境目がはっきりとわかり, 上～下部で暗赤色～赤色, 基部でほとんど黒色,

●肉は厚さ 0.3-0.7cm, 傘から管孔付近で黄色, 柄の基部で暗赤色, 上部ほど淡く, 切断すると傘・管孔付近では青変するが時間がたつと黄色に戻り, 柄の基部では暗赤色の汁が滲み出る; 質はしまり, 特別な味や匂いはない.

●管孔は陥入上生, 幅 0.4-1.0cm ; 孔口は 0.5-1 個/mm, 縁部は波形; 管孔・孔口ともにはじめ鮮黄色, 成長すると汚黄色～帯オリーブ黄色, 青変性がある.

●孢子紋はオリーブ褐色.

●孢子は楕円形, 大きさ 9.0-11.0×5.0-7.0 μm, Q 比 1.4-1.9, 表面には縦に走る畝状の隆起がある.

- 担子器は広棍棒形, $35-38 \times 12.5-15 \mu\text{m}$.
- 縁シスチジアは棍棒形, 大きさ $30-42 \times 7.5-10 \mu\text{m}$, 平滑.
- 側シスチジアは紡錘形で先は細く, 散生し, 大きさ $57-68 \times 14-17 \mu\text{m}$.
- 子実層托実質は散開型, 非アミロイド.
- 傘上表皮は柵状被で末端細胞はシスチジア様となる;シスチジア様の菌糸は円柱形～紡錘形, ときに短細胞化し, 大きさ $22-42 \times 7.5-12.5 \mu\text{m}$, 表面には黄褐色の色素を凝着する.
- 傘実質は非アミロイド.
- 柄上表皮は平行菌糸被で末端細胞は立ち上がってシスチジア様となる;シスチジア様の菌糸は円柱形・棍棒形・形の歪な紡錘形, 大きさ $22-48 \times 7.5-15 \mu\text{m}$.
- 柄担子器は棍棒形, 大きさ $28-42 \times 10 \mu\text{m}$.
- クランプはすべての菌糸において見つからない.

採集日 2006年7月3日
採集場所 神戸市須磨区
採集環境 カシ・コナラ樹下
採集者 幸徳伸也
同定者 幸徳伸也
標本番号 なし